

# 高ちゃんつうしん

\* 2022.10 No.55 \*



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



**皆様、感染症流行への対策として、災害時と同様の危機管理であると捉え、是非、食料品や衛生用品などの備蓄をよろしくお願い致します。**

新型コロナウイルスのオミクロン株「BA5」が猛威を振るった第7波、過去に類をみない感染拡大となり、身近な方々が「陽性になった」「濃厚接触者になった」等々のお声をあちこちで耳にしました。



そのため市からの自宅療養者への食料品や衛生用品のお届けが、追いつかない状況となりました。今は誰が感染するか分からず、突然感染します。そこで台風や地震に備えた防災視点からも感染症流行への対応として、災害時と同様の危機管理であるとの認識で、是非備蓄をお願い致します。

## 屋島山上交流拠点施設「やしま〜る」が瀬戸内国際芸術祭2022の夏会期に合わせてオープンしました！！



瀬戸内海国立公園並びに史跡及び天然記念物に指定されるなど、自然や景観、歴史文化等の魅力に満ちた屋島が、市民の誇れるシンボルとして再生されました。2013年1月に屋島活性化基本構想を策定し、約10年が経過しました。

「やしま〜る」は、屋外広場のほか屋島の地形を生かした全長200m、最大高低差3mの回廊が設けられ、瀬戸内海の多島美や高松市街地を一望できる展望デッキがあり、また、多目的ホールやカフェもあります。ガラス張りで解放感がある壁や地元産「庵治石」約3万枚の屋根瓦などデザイン性も素晴らしいです。

秋会期(9月26日～11月6日)には、約165度に広がる源平合戦をテーマとしたパノラマアート作品も展示されます。是非、皆様！屋島へ！！



8月11日 山本ひろし参議院議員と一緒に、中條亜希子館長の案内で「やしま〜る」を視察しました。→

5月23日 大西市長へ地方創生臨時交付金を活用した、コロナ禍における原油価格・物価高騰から市民の生活を守るための緊急要望を行いました。↓



要望書では、生活困窮者や低所得者及び家計急変世帯に対する給付金の支給、学校給食費等の負担軽減、雇用維持や雇用機会の確保、困窮者支援など14項目と事業者に対する燃料費高騰の負担の軽減、仕入れ価格上昇等により収益が減少した事業者に対する経営支援に事業継続などの14項目の計28項目を求めました。市長からは前向きに検討する意向が示されました。

## ● 3月議会質問から抜粋(他に、新型コロナ対策について) ●



### 質問

- ①生理用品の無償配布を一過性に終わらせることなく、持続的に配布していく考えは？
- ②市内の一部の学校で、トイレの一角に生理用品を設置している取組を他の学校でも実施する考えは？

### 女性の健康問題について



### 答弁

- ①生理用品を使いたい時に、いつでも使える環境を整えることは、有効な取り組みの一つではあるけれども課題もあるので、先進市の取組事例を参考に、持続的に生理用品を無償配布できるサービスの効果的な手法等について検討していく。
- ②保健委員等の子どもの声を聞くことなどを行い、必要とする児童生徒が、抵抗なく生理用品を手に入れ、個別の支援が図れるように養護部会と連携して取り組む。

### 質問

- ①高齢者等が、住み替えを希望する待機者を減らすよう、住み替え待機者対策に取り組む考えは？



### 市営住宅について

### 答弁

- ①入居者が住み替えを希望する場合は、指定管理者と協議し、効率的な修繕による迅速な住み替えに努め、市営住宅の集約・再編を円滑に進めていくための、セーフティーネット住宅など民間ストックを有効に活用した住み替えを促進する枠組みを検討するなど、対策に取り組む。

## ● 9月議会質問から抜粋

## (他に、新型コロナ対策、行財政について、個人情報保護制度について) ●

### 質問

- ①屋島山上交流拠点施設「やしま〜る」を、未来を担う子どもたちが、交流しやすい場として活用する考えは？
- ②香南アグリームにおいて、今、整備中の塩江道の駅エリアと連携するなど農業と観光を連携させた観光振興を行う考えは？

### 観光振興について



### 答弁

- ①「やしま〜る」が子どもたちにとって、屋島やその周辺地域の豊かな文化に触れ、親しむことができる学びの場として、一層の活用が図られるよう、利用実態やニーズを捉え指定管理者と共に取り組んでいきたい。
- ②「香南アグリーム」等、空港周辺の施設と整備中の塩江道の駅エリアとを連携させていくことは大変有意義である。今後、観光振興を図る上で、そのポテンシャルを発揮できるよう、農業と観光を連携させ、県有施設や民間業者も含め広域的なプロモーションを行うなど、エリア全体の効果的な魅力の発信と観光客等の周遊を促進していく。

### 質問

- ①AYA世代(20~39歳)のがん患者へのアピアランスケアに対する補助及び公的支援がない在宅療養者への支援を行う考えは？
- ②前立腺がんや膀胱がん患者などへの配慮として、本庁舎や出先機関の男性用トイレにサニタリーボックスの設置を推進する考えは？

### がん対策について



### 答弁

- ①今後、アピアランスケアに対する補助及び在宅療養支援を実施している県の状況や他都市の助成制度を参考に、本市独自の取組を検討する。
- ②男性用トイレにサニタリーボックスを設置する取組は、外出しやすい環境づくりにつながり、安心して暮らせる社会を推進する上で有意義である。まずは、本庁舎一階のトイレを始め、総合センター、保健センターなどのトイレにサニタリーボックスを設置し、利用者にわかりやすいよう、入口や個室ドアにその旨を表示するとともに、今後、利用者ニーズや課題等を整理し、他の市有施設への段階的な設置を検討する。

## 子ども食堂について

### 質問

- ①おおむね小学校区に1カ所開設する目標達成のために、安定・継続した運営に向けて支援をする考えは？
- ②子ども食堂で、支援を必要な子どもを把握した場合の対応については？



### 答弁

- ①子ども食堂を、子どもが歩いて行ける場所、おおむね小学校区に一カ所開設することを目標としているので、子ども食堂の安定・継続した運営に資する支援策について検討していく。
- ②支援につなげるための連絡先が分からず、対応に苦慮している声もあることから、今後、関係窓口の明確化を図った上で、子ども食堂を始めとする様々な地域団体と連携し、支援を必要とする子どもの、早期発見・早期対応に努める。

### 質問

## 環境問題について

- ①食べ残しの持ち帰りを目的に、環境省が推進している「mottECO」を今後どのように推進していくのか？
- ②グリーンライフポイント事業や、環境促進アプリの活用など、脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や市民の行動変容を促す考えは？



### 答弁

- ①まずは市民の皆様へ、食べ残しをしないという意識啓発を行うとともに、飲食店と利用者が共通認識を持って、食べ残しを持ち帰りできるよう、飲食店のヒアリング等を行う中で、課題を整理し、「mottECO」の促進を検討する。
- ②本市は、県内で地域ポイント「めぐりん」のサービスを提供している事業者と、地域共通決済プラットフォームを通じたデータ利活用に関する協定を締結しているため、これを活用し、独自の取組として、本市主催のフードドライブにおける食品提供に対しポイントを付与する取組を実施したい。またポイント付与の取組拡大も検討し、市民の脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進していく。

## 学校体育館への空調設備設置について

### 質問

- ①来年度から学校体育館への設置推進計画を立て、早期の設置を図る考えは？
- ②「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、空調設備設置を行った自治体もあるので、本市でも少しでも前倒しで整備計画を進めるため、活用する考えは？



### 答弁

- ①空調設備を効果的・効率的に機能させるために、断熱性や気密性を向上させる付帯工事も必要で、多額の整備費が発生する。またランニングコストの抑制や環境負荷低減の視点などの課題解決が必要。そこで現在、導入都市への聞き取りなど、情報収集を行っている状況で、整備手法やコストなどについて、他都市の先進事例を参考にするとともに、更に情報収集を行った上で、空調設備の設置に向け、検討を行う。
- ②臨時交付金は、時限的な財源措置なので、今後、学校施設環境改善交付金や緊急防災・減災事業債等の支援制度の活用を視野に、来年度以降の交付金などの状況を見極めて、慎重に判断していく。

### 質問

## 選挙について

- ①新型コロナウイルス感染者で、自宅・宿泊療養者に対して、不在者投票の一種である郵便投票が可能となった特例郵便等投票の状況と課題及び、今後の更なる周知徹底に取り組む考えは？



### 答弁

- ①自宅療養者に対し、保健所から送信するショートメールで、本制度の案内を行い、宿泊療養施設に入所の方には、特例郵便等投票の案内や請求用紙を配布。また自宅療養者で申し出のあった方には、請求用紙や返信用封筒を送付した。しかし本制度が十分に理解されず、必ずしも、投票に結びついていない状況も推察されるので、今後、本制度について、ホームページに掲載するとともに、投票所入場券に同封する「選挙のたより」への記載を分かりやすくするほか、出前授業などの様々な機会を捉え、効果的な周知・啓発の徹底に取り組んでいく。



現場第一主義で、東植田町の危険な三差路にカーブミラーを設置

令和3年11月に東植田の溝淵党员さんから、危険な三差路にカーブミラーの設置のご要望を頂きました。一度地域にお願いしたが、設置できないと言われたとのこと。そこで現場を担当課と確認したところ、ミラーを立てる位置が、私有地だと思われていましたが、地元の方から、公用地であることが分かり設置可能となり、2月に設置できました。地元の方々には大変喜んで頂きました。



一宮町の宅地化によって危険となった三差路にカーブミラーを設置

令和4年7月、一宮のKさんから安部党员さんに、宅地化が進み三差路の見通しが悪くなったとのこと、カーブミラーの設置のご要望を頂く。そして9月設置が完了し、安心して頂くことができました。



**4月24日 ウィメンズトークを開催**  
公明党香川県本部女性局では夫婦同姓か別姓かを選べる「選択的夫婦別姓」について、高松市のように他の市町でも意見書採択を行いたいと「選択的夫婦別姓制度を願う会」の代表山下さんと意見交換を行いました。制度導入の課題は、知識不足が一番ではと言われていました。

**5月3日 山本参議員、都築県議も出席のもと不妊治療の当事者とカウンセラーの方から不妊治療の保険適用の現状・要望を伺う**  
4月からの不妊治療の保険適用後、適用外の治療についても、早期に保険適用を求める要望などを国・県・市のネットワークとして、しっかりとお話を伺いました。



**9月16日 公明党の香川県観光立国推進懇話会に参加**  
公明党の赤羽一嘉観光立国推進議員懇話会会長(前国交大臣、衆議院議員)を中心に、四国運輸局長、知事、市長、観光・交通関連事業者など13団体との意見交換会に参加しました。

**9月4日 愛媛県四国中央市で開催された四国夏季議員研修会に参加**  
山口代表をお迎えし、「大衆とともに」との立党精神を改めて確認し決意も新たに勇躍前進しました。

**5月16日 香川県が創設した若年がん患者(20~39歳)のアピアランスケア(外見)に対する助成制度の事業内容を伺う**  
がん患者会などで、女性は乳房補正具やウィッグの必要性があることを伺い、何とか購入助成をと、高松市議会で訴えましたが良い答弁が得られませんでした。そこで公明党のネットワークを生かし、都築県議に相談し、県議会で助成制度の創設を訴えて頂き、実現できました。その内容の説明を県の担当者から伺いました。  
★1人につき医療用ウィッグと乳房補正具のそれぞれ1回限り、購入費用の3分の1(上限1万円)を補助することになりました。

